



～中津労働基準監督署管内の事業場の皆さんへ～ 労働災害防止にご協力ください！



中津労働基準監督署管内の労働災害が急増しています！

【8月末現在の主要産業ごとの死傷者数】

業種	令和2年	令和3年	増減率
製造業	(1) 28	(1) 32	14.3%
建設業	16	12	25.0%
運輸交通業	10	13	30.0%
第三次産業	38	(8) 51	34.2%
商業	14	16	14.3%
保健衛生業	13	(8) 23	76.9%
全業種	(1) 96	(9) 111	15.6%

()内は新型コロナウイルス感染症による死傷者数

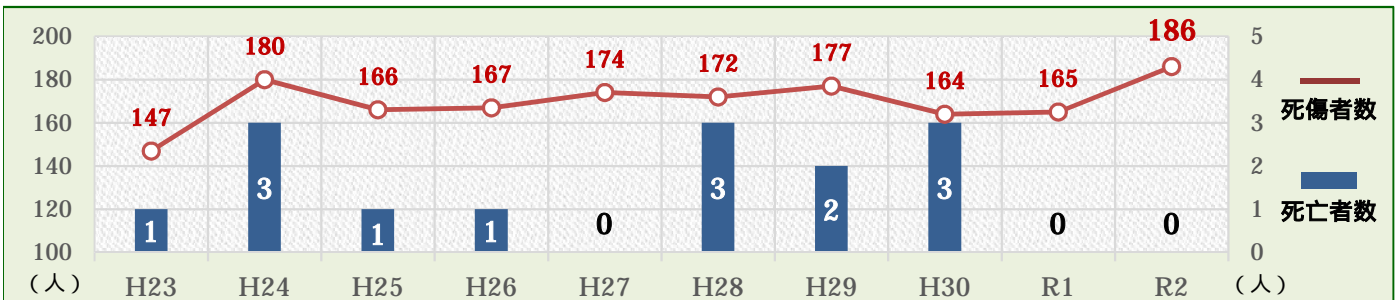
中津労働基準監督署の管内(中津市、宇佐市、豊後高田市)では、近年、労働災害が増加傾向にあります。

令和2年は年間死傷者数が186人となりましたが、当署管内で死傷者数が180人を超えるのは、平成24年以降、8年ぶりとなる非常事態です。

さらに、労働災害の増加は令和3年になっても歯止めがかからず、8月末現在において、令和2年の死傷者数を大幅に上回っている状況となっています。

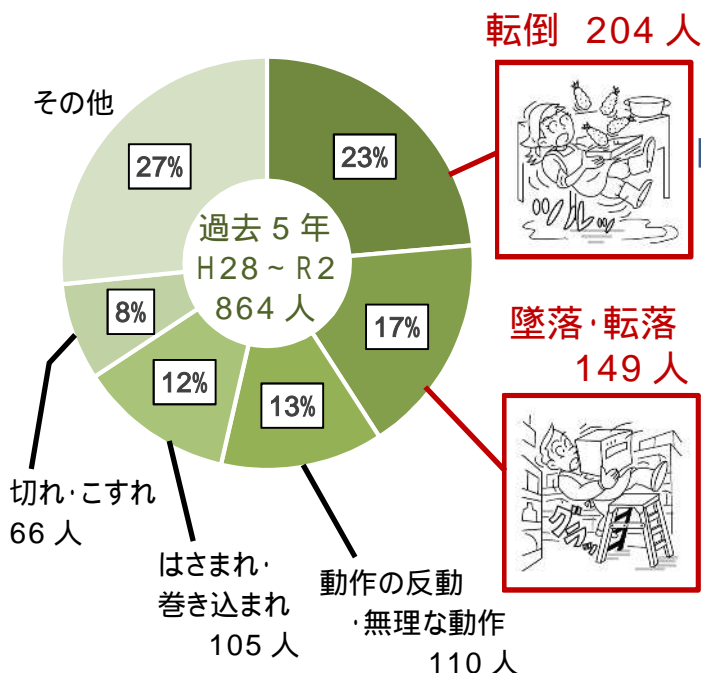
特に令和3年の死傷者数は、新型コロナウイルス感染症関連の死傷者数を除いても、前年より多くなっています。

【各年の労働災害による死傷者数の推移】

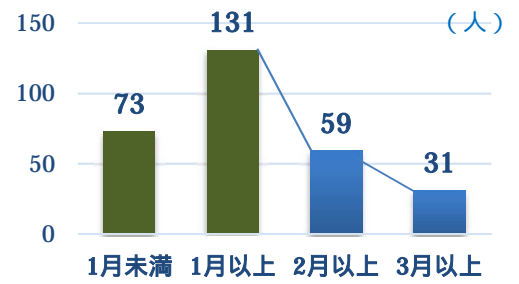


中津監督署管内では「転倒災害」と「墜落・転落災害」が多発しています！

【過去5年間における事故の型別死傷者数】

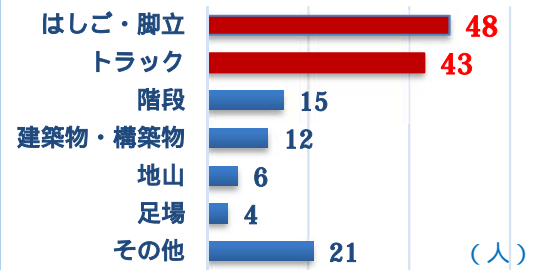


休業見込日数による内訳



転倒災害の64%は、1月以上の休業を要しており、重症化する傾向があります！

どこから墜落したか



はしごや脚立、トラックなど、比較的高さが低い場所からの墜落・転落災害が多発しています！

- 転倒災害は、**大きく3種類**に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

3つの転倒予防



① 作業場所の整理整頓
② 作業場所の清掃
③ 毎日の運動

- 転倒災害を防止するためには、次のような活動に取り組むことが有効です。
- 4S（整理・整頓・清掃・清潔）に取り組む
 - 転倒しにくい方法で作業する
 - 作業に適した靴を選び、定期的に点検する
 - 職場の危険マップを作成し、危険情報を共有する
 - 転倒の危険性がある場所を「見える化」する など。

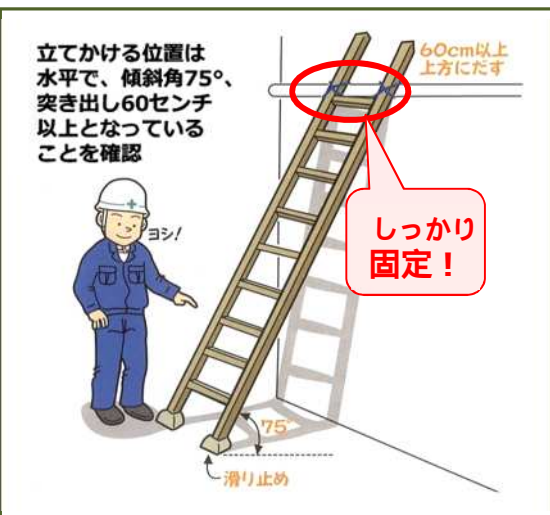


【注意喚起標識の例】

厚生労働省では「**STOP! 転倒災害プロジェクト**」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック！



はしご・脚立、トラックからの「**墜落災害**」を防ぎましょう！



- はしごや脚立では、これらが倒れたり、作業者が足を踏み外したり、身体のバランスを失ったりすることが要因で墜落するケースが多くなっています。
- トラックでは、荷台の上での作業中や、荷台や運転席などへ昇降するときに墜落する災害が多くなっています。

詳しい安全対策については、**厚生労働省ホームページ**を参照ください！

